

【別紙1】

球磨村公式ウェブサイトリニューアル業務委託

基本仕様書

1 業務の概要

1-1 業務名

球磨村公式ウェブサイトリニューアル業務委託（以下「本業務」という。）

1-2 業務目的

本村のウェブサイトは、平成27年にリニューアルを行い運用開始から8年が経過しており、高度化・多様化する閲覧者のニーズやアクセシビリティへの対応が求められている。また、近年の、スマートフォン等の普及により、誰もが容易にインターネットを利用し、情報を取得する手段としての自治体ウェブサイトの重要性は年々高まっている。現行のウェブサイトは、情報が点在し、閲覧者が目的の情報へすぐにはたどり着けないことやスマートフォンで閲覧した際に表が崩れて見づらいなどといったサイト構成の問題が生じている。

さらに、ウェブサイトには、必要な情報を伝えることと併せて、地域イメージの向上やブランド化によって交流人口や定住人口の増加などを図る、シティプロモーション効果も求められるようになっており、自治体が持つ魅力的な特徴を効果的に伝えることが不可欠である。

本業務は、これらの課題を解決するために、本村ウェブサイトを全面リニューアルするものである。また、情報発信力の強化や災害発生等の緊急時の対応、外部からの攻撃に対応できるセキュリティ対策の強化なども目的として行うものである。

1-3 基本方針

本業務は、CMSの導入構築、デザイン及びテンプレートの作成、運用マニュアル等の作成、操作研修の実施、リニューアルに伴う総合的な支援といったシステム更新に係る全般的な作業を行うため、以下の方針に沿ってリニューアルすること。

(1) アクセシビリティへの対応

すべての利用者が支障なく利用できるような多様な利用環境を構築すること。

(2) ユーザビリティへの対応

利用者の誰もが目的の情報に快適にたどり着くことができるサイト構成・デザイン・レイアウト・カテゴリ分けに配慮すること。また、容易に目的の情報にたどり着くために十分な検索機能、閲覧しているページに関連する情報をわかりやすく表示する機能を備えるシステムとすること。

(3) ブランドイメージの向上

本村のブランドイメージの向上につながり、「球磨村らしさ」が伝わるデザイン、機能、サイト設計とすること。

(4) マルチデバイス対応

スマートフォンやタブレット端末等を含めたあらゆるデバイスに応じて、ウェブサイトが最適化され、操作しやすい仕組み・デザインを構築すること。特に、スマートフォンからの視点を重視すること。

(5) 非常時対応

①災害情報等を的確にいち早く掲載できるよう、運用方法やページデザインを配慮すること。

- ②災害時等にトップページへ緊急情報等を表示する機能を有すること。
- ③災害等の緊急時にアクセスが集中すると予想される際には、通常のトップページから緊急時用トップページに切り替え、必要とされる情報を安定して提供できる機能を構築すること。また、スマートフォンやタブレット等のデバイス向けについても同様の機能を構築すること。

(6) 作業効率の向上

ページ作成についての専門知識を持たない職員でも編集が可能なCMSの導入と運用ガイドラインの整備を行うこと。

また、リンク切れ等の人為ミスを極力防ぐようなコンテンツ管理機能を有すること。

(7) 拡張性の確保

バージョンアップ等による機能向上やサイトの構成変更等が柔軟に行えること。また、将来的なシステムの拡張・機能向上を考慮すること。

(8) 多言語対応

日本語、英語、中国語（簡体、繁体）、韓国語に対応し、外国人閲覧者にも配慮したものとする。

(9) 研修実施

システムの稼働とともに円滑な業務の開始を可能とするため、操作研修を事前に実施すること。

1-4 業務の範囲

本業務では、CMSの導入・構築、サイト構成の検討やデザイン作成、職員の操作研修、総合的な支援といったシステム更新に係る全般的な作業を行う。項目は下記のとおり。

- (1) 本村の要求仕様を満たすCMS・サーバ環境の導入
- (2) 現行サイトの問題点や弱点の改善
- (3) ウェブサイトの構造・運用設計及びデザイン制作
- (4) アクセシビリティへの対応
- (5) 現行サイトからのコンテンツ移行
- (6) 各種マニュアル、各種ガイドライン等の作成及び操作研修
- (7) コンテンツの企画立案・構築
- (8) サブサイトの連携
- (9) 保守・運用支援（保守・運用については別途契約）
- (10) コンサルティング
- (11) その他、有益な独自提案

1-5 対象サイト

- (1) 球磨村公式ウェブサイト (<https://www.kumamura.com>) 配下のページ
- (2) 統合するサイト

下記のサイトは、球磨村公式ウェブサイトのドメインとは異なる外部サイトとして稼働しているが、これを球磨村公式ウェブサイト内（同一ドメイン配下）にて稼働させるよう移行

すること。

- ・アーカイブくまむら (<https://www.archive-kumamura.com>) 配下のページ

(3) 対象外サイト

以下のサイトは対象外とする。

- ・観光情報サイト Go-KUMA (<https://go-kuma.com>)
- ・観光プロモーションサイト エメラルドロード (<https://www.emerald-road.com>)

1-6 契約期間・スケジュール

(1) 委託契約期間

契約締結日から令和7年3月31日まで

(2) 新サイト公開

令和7年4月1日を予定する。時間は協議の上、決定する。

(3) 構築スケジュール

詳細は、本村と受注者が別途協議し、決定する。ただし、公開予定日に合わせたスケジュール管理を行うこと。

2 システム動作環境要件

以下の各要件に関して、金額も含めてバランスの取れた企画を提案すること。求める要件は次のとおりであるが、これを超えるより良い提案がある場合は、提案すること。

2-1 ウェブサイトに関する要件

- (1) 24時間365日の稼働を原則とする。そのほか、稼働に関する要件を明確にするために本村とSLAを締結すること。ただし、何らかの原因によりサービスが停止した場合には、サービス停止から6時間以内に復旧又は代替手段を用意し、サービスの利用に支障がないようにすること。
- (2) セキュリティパッチの適用等、一時的にサービス停止の恐れがある場合には、事前連絡を原則とし、代替サービスを用意するなど、可能な限りサービスの停止を防ぐ対策を施すこと。
- (3) サービスの停止が年に何度もある場合や、長時間の停止がある場合などは、賠償を求めることもあるため、十分留意すること。

2-2 データセンター要件、サーバ環境要件

- (1) データセンターは別紙3「データセンター機能要件一覧」の各項目を満たすこと。
- (2) データセンターは国内に設置され、運営事業者は、プライバシーマーク及びISO27001の認証を取得していることが望ましい。
- (3) CMS環境、テスト環境、公開環境の3つを用意すること。
- (4) セキュリティパッチの適用後、サーバの管理・運用は受託者で行うこと。
- (5) サーバには、ウイルス対策を実施すること。
- (6) リニューアル後5年間の運用に耐え得る十分な容量を確保すること。

2-3 ソフトウェアに関する要件

- (1) ソフトウェアの環境は提案に委ねるが、具体的な性能や構成、保守内容や体制等を企画提案書にて具体的に示すこと。
- (2) 稼働に必要な全てのソフトウェアのインストールと初期設定を行うこと。

2-4 ネットワークに関する要件

インターネット経由での利用を想定している。本村ネットワークとの接続やアドレス規制等に関して、本村と十分に協議の上、設計すること。また、災害発生など緊急時については、庁舎以外から更新が可能となる仕組みを構築すること。

2-5 セキュリティ対策に関する要件

- (1) 運用するサーバに関しては、常に最新バージョンを維持してウイルス感染等を防止すること。また、最低1日に1回は全コンテンツ（添付ファイル含む。）のウイルスチェックを行い、ウイルスを発見した場合は、速やかに除去すること。
- (2) ソフトウェアは、セキュリティホール等に対する最新の対策を行った上で導入し、情報漏洩対策を十分取ること。
- (3) 異常又は障害が発見された際には、直ちに本村へ連絡し、復旧手段について万全を期す体制及び運用が可能であること。また、障害発生時には原因を調査の上、報告書を提出すること。
- (4) 外部からのセキュリティリスクへの対策を企画提案書に記述すること。

2-6 CMSの稼働に関する要件

ウェブサイトとCMSが別に稼働する場合は、CMS側も可能な限り24時間365日の稼働が望ましい。ただし、何らかの原因によりサービスが停止する場合には、事前周知をするなどの対応をすること。

2-7 その他の要件

- (1) データバックアップやアクセス解析等、必要と思われる保守要件を可能な限り具体的に提案すること。
- (2) ハードウェア部分の障害の際は、24時間365日、受託者から能動的に連絡し、対応すること。
- (3) 外字は使用しないこと。また、想定されるアクセス環境（デバイス、ブラウザ等）で、文字コードに起因する文字化けを起こさないこと。

3 構築に関する基本要件

3-1 開発要件

3-1-1 テスト環境

受託者においてテスト環境を用意すること。

3-1-2 稼働テスト

開発されたシステムが業務で使用できるかどうかを検証するため、本番環境下で総合試験を実施すること。なお、内容等については本村と協議の上決定する。

3-2 基本要件

3-2-1 CMS ソフト

- (1) 導入する CMS は、過去3年度以内に自治体で構築及び運用実績のある CMS であり、現在稼働していること。本村が求める CMS の機能要件は、別紙2「CMS 機能要件一覧」に記載のとおりとする。標準にない機能は、カスタマイズ又は他のソフトとの連携と可とするが、その旨を備考欄に記載すること。
- (2) 基本 OS は Microsoft Windows など、一般的に利用されているものとする。

3-2-2 システム基本構成

- (1) 公開サーバ、CMS サーバ及びバックアップ装置を含む全ての機器を本庁舎内に設置せず、国内のインターネットデータセンター（以下「IDC」という。）を利用した ASP/SaaS 方式とし、機器・ネットワーク回線等の維持管理等一切を受託者が行うものとする。
- (2) ユーザ数やページ数、サーバ台数の増加による追加ライセンス費用が発生しないこと。
- (3) ウェブサービスのアクセスログは、13ヶ月以上保存できること。
- (4) サーバのディスク容量は、WWW サーバ、CMS サーバ共に5年間の運用に耐えられる容量を確保すること。
- (5) バックアップサーバーは WWW・CMS サーバとは別の装置にバックアップ出来ることとし、1日1回以上取得すること。
- (6) 運用時にセキュリティの脆弱性が判明した際は、無償で対応すること。
- (7) 突発的な障害にも動作が継続して行われるよう冗長性、安全性を考慮すること。
- (8) 構築に当たっては十分なセキュリティ対策を講じること。サイト内の全ページにおいて、常時 SSL 化に対応すること。なお、SSL の更新手続きは受託者が責任を持って行うこと。
- (9) 災害発生時などアクセス数増加への対策として CDN サービスの利用等についても勘案すること。
- (10) 不正侵入や DDoS 攻撃等に対して検知・防御を行うために WAF を導入すること。
- (11) 大規模な災害や障害等が発生した際、継続的に情報を発信するための DR サイトを構築すること。

3-2-3 ウェブコンテンツの形成

- (1) 原則として、生成されるコンテンツは全て静的なものとする。ただし、動的に生成されることが必要なページについては、別途本村と協議の上、決定する。また、動作環境に配置するフォルダ名やファイル名は、英数字で任意に設定できること。
- (2) 更新内容は即時及び日時指定で反映できるような仕組みをとること。即時ではなく時間差若しくは定期反映になる場合は、その旨を提案書に明記すること。
- (3) 利用者が使用するブラウザは以下のものを想定しており、これらのブラウザにてレイアウトが崩れないように作成すること。なお、バージョンは企画提案時点での最新版での正

常動作を保証すること。

〈パソコン向け〉

・ Microsoft Edge ・ Firefox ・ Google Chrome ・ Safari ・ Operaの最新版

〈スマートフォン・タブレット向け〉

・ iPhone/iPad 及び Android の標準ブラウザ

(4) 多言語対応 (UTF-8) していること。

(5) 複数の音声読み上げソフトに対応できるよう、作成されたコンテンツのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述されること。

3-2-4 クライアント環境

(1) 庁内イントラネットに接続されたクライアントPCからブラウザのみで利用可能とし、専用ソフトウェアのインストールが不要なシステムであること。ただし、本村が指定する場合は庁外の環境であっても、グローバルIP等で指定した端末からの接続もできるようにすること。また、OSやブラウザの更新対応は、無償で対応すること。

(2) クライアントPCは、OSがWindows10、ブラウザがMicrosoft Edge、Chromeで職員が作成・更新・管理業務等を行えること。

(3) 権威DNSサーバについては、熊本県セキュリティクラウドの権威DNSサーバを利用すること。

3-2-5 CMS サーバへの接続

庁内クライアントPCからCMSサーバへの接続は、ブラウザを通してID、パスワード認証にてログインを行うこと。なお、ID、パスワードは各課に作成者用・承認者用を任意の数付与でき、上限は設けないこと。

3-2-6 CMS利用者

CMS利用者は、次の数を想定する。また、CMSへの同時アクセス数が100人に達する場合でも、遅滞のないレスポンスを実現すること。

区分	ユーザ数	内容
作成者	100 人	記事の作成・更新・削除を行う。
承認者	30 人	作成者が作成した記事の確認・更新、公開承認を行う。
サイト管理者	3 人	作成者、承認者の作業内容に加え、カテゴリ管理等のサイト全体の管理を行う。

3-2-7 ライセンス費用

ユーザー数やページ数の増加による、追加のライセンス費用が発生しないこと。

3-3 システムの機能要件

3-3-1 CMS ソフト機能要件

CMS機能要件は、別紙2「CMS機能要件一覧」に記載のとおり。

3-3-2 CMS導入・設定

CMSのユーザ情報、所属の基本情報、カテゴリ情報等について、受託者にてCMSへ初期設定(マスタ登録作業)を行うこと。なお、初期設定にあたっては、本村と協議の上、決定した

ものを登録すること。

CMSを稼働させるために必要な設定、手順などを記したマニュアルを提出すること。また、CMSのシステム動作テストを実施し、その結果を提出すること。

3-4 アクセシビリティ対応

- (1) 生成されるコンテンツが、JISX8341-3:2016に準拠し、ウェブサイト全体の達成基準が「レベルAA」を満たすこと。ただし、現行データの仕様等や運用上の理由で、一部コンテンツを除外する場合がある。
- (2) 生成されるコンテンツが、JIS X 8341-3:2016 の「レベル AA」までを満たしていることを自動でチェックする機能を有すること。
- (3) アクセシビリティの評価については、総務省より配布されたアクセシビリティ評価ツール (miChecker) を用いた試験を行うこと。また、ウェブサイト公開後、同試験結果を公開すること。
- (4) 本村が任意のツールでチェックを行い、改善の余地が見られると判断した場合は、受託事業者が修正を行うこと。

3-5 コンサルティング

最終的なサイト構成、コンテンツファイル名、タイトル名、担当課など一覧情報は本村にて決定するが、デザインやサイト構成、不足していると思われるコンテンツなどについて、本村に最適と思われるコンサルティング (又はアドバイス) を行うこと。

- (1) 現行サイトの問題点や改善点を分析し、その改善策を示すこと。また、不足していると思われるコンテンツの新規作成についてコンサルティングを行うこと。
- (2) アクセシビリティ全般に関するコンサルティングを行うこと。
- (3) 既存データの移行に関するコンサルティングを行うこと。
- (4) サイト運用に関するコンサルティングを行うこと。

3-6 サイト設計

現行サイトの分析を行い、リニューアルの目的や方針等を勘案したうえで、利用者にとっての利便性を最優先とするサイト設計を行うこと。

- (1) 現行サイトの分析から、新サイトの全体構成、メニュー構成を検討し、協議を行い決定すること。
- (2) 目的とするコンテンツに、原則3クリック、最大5クリック程度でたどりつく階層構造とすること。
- (3) トップページやメニューページ、末端ページから複数の導線でアクセスできるように配慮して設計すること。
- (4) レスポンシブデザインとし、単一のファイル作成でパソコン、スマートフォンやタブレット端末等異なるデバイスに対して表示内容が最適な状態に変化すること。
- (5) カテゴリページだけでなく、ライフイベント毎のページや各課のページを作成すること。

3-6-1 サブサイトの作成

サブサイトとは、ウェブサイトの一部カテゴリではなく、完全に独立したページグループを指す。また、サイトの特性を活かしたデザインとすること。デザインの詳細については、打ち合わせの上、決定する。

〈新設するサイト〉

下記のコンテンツに関しては、同じCMS上で管理サブサイトとして構築すること。

- ・移住定住関連サイト
- ・ふるさと納税サイト（個人用ページ及び企業版ページ含む。）

3-7 新規コンテンツの作成

現行サイトの課題やリニューアルの基本方針などを勘案し、新たなコンテンツを作成すること。

- (1) 現行サイトを基にした、新たなFAQページ・オープンデータページが作成できること。
- (2) 各施設等の予約や予約状況の表示ができるページの構築
- (3) 各種手続きや申請方法の検索機能
- (4) ごみの日カレンダーの構築
- (5) 令和2年7月豪雨災害関連ページの構築
- (6) 「防災情報」「休日当番医」欄の掲載
- (7) 広報くまむら
- (8) その他、村の魅力をPRするのに効果的な企画ページが作成できること。

3-8 デザインの作成

現行ウェブサイトの課題やリニューアルの目的等を勘案し、トップページのデザイン案を作成し、協議の上、最終デザインを作成すること。また、中ページ・詳細ページのデザインも作成し、統一感のあるデザインにすること。

3-8-1 トップページ

- (1) 村の特徴やイメージに合った「球磨村らしさ」が伝わるデザインとすること。アクセシビリティやユーザビリティに配慮するとともに、操作性の向上やデザインの容易な変更が可能となること。
- (2) 写真やアイコンを効果的に配置し、わかりやすいナビゲーションとすること。デザイン・詳細は打ち合わせの上、決定する。
- (3) 軽微なデザインの追加・修正変更はあらかじめ保守費用に含め、保守・運用の中で対応すること。
- (4) 緊急時（災害時）のトップページのデザインも作成し、職員の操作で容易に切り替えが可能であること。

3-8-2 基本デザイン

前項にて決定したトップページに合わせた本文用のテンプレート、ライブラリ、スタイルデザインを作成すること。デザイン・詳細は打ち合わせの上、決定する。

- (1) サイト共通部分のデザイン修正を全体に反映することができること。
- (2) 必要なテンプレートは新規作成すること。

- (3) 管理者による変更や新規作成追加が可能であること。デザイン・詳細は打ち合わせの上決定する。
- (4) 各ページには、グローバルナビゲーションのほか、ローカルナビゲーションやサブサイトリンクバナーなど、下層ページからアクセスしても周知したいものが PR できるような配置を行うこと。
- (5) ページ印刷時に文字や画像が切れる等の不具合が無いようにすること。

3-9 災害対応

災害発生等の緊急時でも安定した情報発信ができるようにすること。

- (1) 注意報や警報の発令から災害発生時までの各段階に応じた表示（災害用ページへの切り替え）ができること。表示内容・方法については提案すること。
- (2) 災害モードの切り替えや緊急情報の記事の登録については、スマートフォンからも行えること。

3-9-1 Jアラートとの連携

Jアラートから配信された内容を連携することを想定し、メールや HTTP POST によりデータを取得し、ウェブサイトに緊急情報として掲載できること。

3-9-2 Lアラート連携

Lアラートシステム(コモンズノードシステム)から配信された内容(コモンズ EDXL 形式)を取得し、ウェブサイトに掲載できること。マルチメディア振興センターL-Alert サイトの技術情報より、情報受信システムを CMS サーバ上に構築し、ローカル環境での動作テスト、テスト環境に接続しての動作テスト、本番環境に接続してのシステムの動作確認を行うこと。利用申請書の提出・連携システム接続申請書の提出・本番利用開始通知書の提出は本村にて行う。

3-9-3 防災・緊急情報ページ

防災・緊急情報ページとして以下の情報提供ができること。

- ①緊急情報
- ②新着情報
- ③避難所/避難ルート、ハザードマップ、備蓄情報、補助金制度（保険等）、防災計画・災害時協定、災害時要援護者対策、安否情報の確認方法、ボランティア活動の紹介、支援物資を送る際の心構え、緊急時の情報取得方法、初動に関する情報など

3-10 SNS 連携

CMS で記事を作成する時に、球磨村公式の Facebook や X (旧 Twitter) 等を開設した際には、SNS に自動で投稿できること。設定により、同時投稿機能は停止ができること。

3-11 拡張性と柔軟性

今後の利用者ニーズの変化や情報インフラの高度化に備え、システムのバージョンアップによる機能向上やサイト構成の変更に柔軟に対応できることが望ましい。

3-12 外部 APS の導入

アクセス解析、外国語自動翻訳等の無償で利用できるASPサービスを導入し、各テンプレートへの埋め込み作業等を行うこと。

3-12-1 アクセス分析

管理者がアクセスログを簡単に解析できる機能を有すること。

3-12-2 サイト内検索

利用者が最短で目的の情報にたどりつくことができるよう、サイト内検索機能を実装すること。

(1) 利用者がフリーワードで検索ができること。

(2) CMS の機能でなく、フリーの検索エンジンの使用も可とするが、広告表示等の不要な情報が出るもの、テンプレート内に表示できないものは不可とする。

(3) 検索窓の下部に、おすすめやよく見られているワードなどが表示できるようにすること。

(4) 検索キーワード文字がハイライト表示されること。

3-12-3 外国語翻訳

外国人がウェブサイトから行政情報等を閲覧できるよう、自動外国語翻訳ソフト又はサービスを導入し、パソコンサイト、スマートフォンサイト等にも対応すること。日本語に加えて、英語、中国語（簡体、繁体）、韓国語に対応すること。

4 データ移行に関する要件

4-1 移行対象

移行対象は、公式ウェブサイト 1,600 ページ程度、アーカイブくまむら 40 ページ程度を想定している。

4-2 移行の基本条件

職員のシステムへの習熟及び移行費用の削減を考慮し、研修プログラムのスケジューリングを含め、コンテンツ移行について最適な方法を提案すること。また、移行作業における各担当課へのサポート体制についても提案すること。

4-2-1 移行計画

スケジュール、村及び受託者の役割、完了時の検証方法等、全体的なルールを示した移行計画書を作成すること。

4-2-2 移行管理表の作成

作業を確実かつ円滑に行うために、ページ単位で移行指示が記された移行管理表を作成すること。

4-2-3 移行の実施

(1) カテゴリページ、サイトマップのようにCMSで自動的に作成されるコンテンツを除き、移行するコンテンツについては、各課の職員が移行の要否の判定を行い、移行が必要なページだけを確実に移行する。また、添付されている画像・文書ファイル等も併せて移行すること。

(2) 移行後のデータは、職員CMSを用いて修正、公開、削除が行える状態にすること。

4-2-4 移行対象データの提供

移行対象データについて、村側からの提供は行わない。受託者による、現公開サイトからの移行データ取得を想定している。

4-3 移行後の検証

(1) 移行作業後のページは「3-5 アクセシビリティ対応」を満たすとともに「3-2-3 ウェブコンテンツの形成」で示す各ブラウザで適切に表示されるかを確認すること。

(2) 本村の検証において不備が発覚した場合は、受託者にて修正対応を行うこと。

5 職員支援に関する要件

5-1 アクセシビリティガイドラインの作成

本村と協議の上、アクセシビリティ配慮の重要性や具体的な対応方法を記したガイドラインを作成すること。

また、ガイドラインはイラストや写真を用いて分かりやすく作成し、アクセシビリティについての知識がなくても理解できるように平易な用語を用いること。

5-2 操作マニュアルの作成

各マニュアルはCMSパッケージに標準で付属するものではなく、本村における運用の事情や要望を反映して作成し、本村の業務内容と実施手順に沿って一連の操作方法を解説すること。

(1) 作成者・承認者・管理者向けマニュアルをそれぞれ作成すること。

(2) イラストや画像を活用し、分かりやすく解説すること。

(3) 業務に不慣れな職員でも理解できるよう、平易な用語を用いること。

5-3 操作研修の実施

職員が本業務に理解を深めるとともにシステムへの習熟を深めることができるよう、実際にCMSを操作しながら研修を行うこと。それぞれの人数と時間については以下を想定している。開催時期等については別途協議とする。

- ・作成者向け研修会 30名 × 2時間 × 3回
- ・承認者向け研修会 30名 × 1時間 × 1回
- ・管理者向け研修会 3名 × 1時間 × 1回

研修会用マニュアル及び研修会に必要な資料の作成を行い、電子データにて納品すること。研修会に必要な資料の印刷は、本村が行う。

研修会場及び機材（職員が利用するPC、インターネット環境、プロジェクター、スクリーン）は本村が準備する。

5-4 テスト環境整備

操作研修及びウェブサイト確認作業のために、本番環境とは別に非公開のURLでテスト環境を準備すること。

6 運用・保守業務に関する要件

令和7年度以降の運用・保守については、単年度ごとに受託者と別途契約するものとし、保守費用を算出すること。保守業務の内容は以下を想定している。

6-1 運用・保守要件

- (1) システムの安定的運用を図るため、ソフトウェアに関して定期的な保守を行うこと。
- (2) システム及びシステムの稼働に伴い継続的に必要となるソフトウェア製品のライセンス提供（保守費用も含む。）、管理を行うこと。
- (3) 使用する全てのソフトウェアのバージョンアップに関しては、その適用の判断に必要な調査・評価を行い、本村と協議の上、提供及び適用作業を行うこと。
- (4) ソフトウェアやコンテンツ等に脆弱性が発見された場合は、パッチを適用する等のセキュリティ対策を行うこと。なお、実施の際には、類似環境による適用テストを行った上で本番環境へ適用すること。
- (5) 軽微な修正については保守内で対応すること。
- (6) 職員向けの研修会を年に1回程度行うこと。

6-2 システム監視

システム監視ツールを活用するなどし、システム稼働状況を実施し、システムの可用性を確保すること。具体的な監視項目は以下のとおりとする。

- (1) ネットワーク稼働監視
- (2) ネットワーク負荷状況（トラフィック）
- (3) サーバ稼働監視
- (4) プロセス監視（OS系、アプリケーション系）
- (5) ログ監視
- (6) サーバの負荷監視（CPU、メモリ、ディスク）

6-3 障害対応

- (1) 障害への対応については、本村と調整を行い、システムをはじめとする各種ソフトウェアの復旧対応及びデータの復旧作業を行うこと。
- (2) 障害事後対策として、収集した障害情報をもとに原因を分析し、同様の障害が発生しないように是正措置・予防措置を講じること。
- (3) 不正侵入検知を行うこと。不正侵入の兆候を検知した場合、ファイアウォールのルール変更を行うなど、適切な対応を講じること。
- (4) 本村からの障害連絡を受けられるように連絡体制を整備すること。なお、連絡窓口はシステム、アプリケーション等を含めて一つとすること。
- (5) 本村で大災害が発生する等でCMS上での操作が出来なくなった場合には、本村からの電話等での指示で災害用ページへの切り替えや必要なページの作成・更新作業等を行うなど、緊急時に必要な支援を行うこと。

6-4 運用支援

システム運用やアクセス解析等、技術的保守に限定しない問い合わせに対応すること。なお、問い合わせは本村サイト管理者を窓口として行うものとする。

- (1) 年に一回アクセス解析を行い、カテゴリ分類等やアクセシビリティにおける問題点を明らかにし、修正の提案及びサポートを行うこと。解析を実施する時期については協議の上決定する。
- (2) 対応時間については、メールの場合は24時間（受付のみ）、電話の場合は原則月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分までとし、年末年始や祝祭日を除く。ただし、緊急時は本村と協議の上、対応すること。

6-5 バージョンアップ

- (1) OS等のアップデートやリビジョンアップを定期的に行うこと。
- (2) CMSは契約の範囲において、新たな機能の追加やOS・ブラウザ等への対応を行うこと。対応の範囲については、協議の上決定する。

7 納品

7-1 成果物の納品

以下の成果物を電子媒体（CD-ROM等）及び印刷物（各2部）で納品すること。

- (1) CMSに係るソフトウェア及び本村サイト用設定情報等一式
- (2) サイト設計書
- (3) データ移行報告書
- (4) アクセシビリティガイドライン、アクセシビリティ試験結果
- (5) 作成者・承認者向けマニュアル、管理者向けマニュアル
- (6) 研修会用マニュアル
- (7) デザインに使用した画像データ一式（当該データを利用して、本村が新たに画像を作成することを承諾すること）
- (8) 各種打ち合わせの資料及び議事録等
- (9) その他本村が必要とした書類

8 その他留意事項

8-1 機密保護

本村が個人情報・秘密と指定した事項及び業務の履行に際し、知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。また、契約終了後も同様とする。

8-2 打ち合わせ及び連絡調整

仕様の確認等を行うため、本業務の履行期間内は原則として1ヶ月ごとに打ち合わせ（打ち合わせの方法は協議する。）を行い、実施後速やかに議事録を提出すること。また、業務の進捗報告を毎月行うこと。

8-3 再委託

- (1) 本業務の一部を再委託する場合、事前に再委託範囲及び再委託業者を本村に書面で提出し、了承を得ること。また、受託者は、再委託の行為について全責任を負うこと。
- (2) 再委託先となった者が、さらに第三者に委託（再々委託）することは禁止する。

8-4 契約不適合責任

業務終了後、引き渡された成果物に種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものがあるときは、受託者は本村が指定する補法による履行の追完、代金の減額又は損害賠償の責めを負う。

8-5 著作権等

ウェブサイト制作に関する一切の著作権は、本村に属するものとする。オペレーティングシステム・ミドルウェア・CMS等のパッケージは含まない。成果物が第三者の著作権・権利を侵害しないものであることを保証すること。ただし、成果物等に受託者が従前から有していた知的財産権（著作権、ノウハウ、アイデア、技術、情報を含む。）が含まれていた場合には、権利は受託者に留保されるが、本村は本業務の成果物等を利用するために必要な範囲において、これを無償で利用できるものとする。

8-6 追加提案

受託者はその専門的な立場から、今後の技術革新やウェブサイトのあり方を見据え、効果的な提案があれば、本業務の費用の範囲内で積極的な提案を行うこと。

8-7 協議

本仕様書に定める事項に疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項で協議の必要がある場合は、受託者は本村と協議を行うこと。

【問い合わせ先及び各種書類の提出先】

球磨村役場復興推進課

〒869-6401 熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

TEL:0966-32-1114

FAX:0966-32-1141

e-mail:a-kiya@kuma.kumamoto.jp